

## 「総合計画審議会」（令和2年12月1日）における委員意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
1	<p>【観光需要喚起・コロナ】            国・県の施策により観光需要は7割程度まで回復しているが、残りは地域間競争の部分となるため、観光の需要喚起に力を入れて頂きたい。</p>	<p>新型コロナの影響を受けた本県観光の回復を図るには、感染状況に応じた段階的な誘客拡大が重要であり、これまで県民限定の宿泊割引や国の施策とのタイアップ事業等、県内観光需要の早期回復に取り組んでいます。現在、アフターコロナを見据えた新たな施策展開を図るため、観光振興基本計画の見直しを行っており、今後のインバウンド需要の回復や旅行者の行動・ニーズへの変化等に対応した実効性の高い観光振興施策を検討して参ります。</p>	商工
2	<p>【在宅障がい者への支援・コロナ】            在宅障がい者を介護する家族は、自身が感染した場合の介護に不安を感じているので、県身体障害者連合会が運営する障がい者施設の活用をご検討頂きたい。</p>	<p>在宅障がい者の家族など介護者が感染した場合に、在宅生活が困難となった障がい者の支援のため、県身体障害者連合会が運営する障がい者施設をはじめ、各施設の御協力のもと、障がい者の一時受入機能の整備を推進しており、関係団体等との連携を密にし、在宅障がい者及び家族の安全・安心確保に努めて参ります。</p>	保健
3	<p>【差別的取り扱いの禁止・コロナ】            「徳島県新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に関する条例」に差別的取り扱い等の禁止が掲げられているが、より具現化するために、関係機関と連携した取組を進めてはどうか。</p>	<p>本県では、差別的取扱いを禁止し、県民一丸となって新型コロナウイルス感染症に立ち向かうため、県内4大学と連携して、「インターネット上の差別書き込みに対するモニタリング」を実施し、サイト管理者等への削除要請を行うほか、差別的取扱い等の禁止に関する啓発として、徳島ヴォルティスの選手をはじめ本県ゆかりの方々による「メッセージ動画」の作成・配信、さらに、徳島弁護士会と連携し、県立人権教育啓発推進センター「あいぽーと徳島」における「インターネット上の人権侵害相談日の開設」等の取組を行っております。            引き続き、こうした取組を通じ、感染者はもとより医療・介護従事者やその家族等に対する偏見や差別を決して許さない「徳島づくり」を進めて参ります。</p>	未来
4	<p>【先進的な教育活動等への期待】            遠隔授業やオンライン授業などの分野で、先進的・模範的となる取組を進めてほしい。</p>	<p>過疎・少子化の進行により小規模化が進む高校の活性化を目的として、海部高校と池田高校（本校・辻校・三好校）において、遠隔授業を活用した多様な教育活動や魅力的な授業の展開に取り組んでいます。徳島モデルの遠隔授業を構築したことで、全国からの視察や問合せを受けていますが、今後もこの取組を継続し、遠隔授業の普及促進を図るとともに、遠隔授業に携わる教員の人材育成を行って参ります。            また、学校におけるEdTech活用推進について、令和2年度に実証的な研究を行い、得られた成果をもとに各学校における教育の情報化を推進して参ります。</p>	教育



「総合計画審議会」（令和2年12月1日）における委員意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
9	<p>【地域内の人材育成】 人口減少を見据えて、県内部の人材をきちんと育てる仕掛け作りが重要であり、地方で不足する「企画できる人材」を一般向けに育成してはどうか。</p>	<p>県立総合大学校においては、県の各部局、高等教育機関等と連携し、各種講座を開設することにより、県民の多様なニーズに的確に対応できる学びの場として、県が認定する資格、専門的能力、技術の習得、さらには自己実現の場を提供しています。今後とも各部局と連携を図り、適切に事業の見直しを行い、地域で活躍できる人材の育成に努めて参ります。</p>	政策
10	<p>【県立新ホール】 文化に関わる者にとって、県立新ホールが、文化を感じ喜んでいただける場や、色んな方が集まることができる場になればありがたいと考える。</p>	<p>県市協調による「新ホール整備」については、施設の方向性や考え方を定めた「基本方針」を策定したところであります。基本方針では、新ホールを文化芸術の鑑賞や活動の場に位置づけるとともに、多くの人々を惹きつける施設を目指すこととしております。今後とも、県都のランドマークに相応しい、新ホールの早期整備に向けて取り組んで参ります。</p>	未来
11	<p>【障がい者施設でのICTの活用・コロナ】 外部との交流や製品の販売を目的に、障がい者施設において、eスポーツの活用やICTの導入を進めているが、福祉施設ではICT人材が不足しているため、協力をお願いしたい。</p>	<p>「WITHコロナ」下における工賃向上に向けて、「新しい生活様式」に対応した障がい者就労施設の支援や就労製品販売のためのECサイトの開設に取り組んでいるところです。「NPO法人とくしま障がい者就労支援協議会」等、関係機関・団体との連携により、デジタル社会実現を見据えた、障がい者施設におけるICTの利活用推進に取り組んで参ります。</p>	保健
12	<p>【特別支援学校でのICT教育】 障がい者施設利用者の工賃の向上が期待できるため、特別支援学校でのICT教育に取り組んで頂きたい。</p>	<p>テレワークによる就労体験の中で、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト等への習熟度を高めるとともに、とくしま特別支援学校技能検定（ICT分野）においても素早く正確な文字入力スキルの向上に取り組むなど、さらなるICTスキルの向上を図って参ります。</p>	教育

「総合計画審議会」（令和2年12月1日）における委員意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
13	<p>【紙パック・ビニールトレイの回収について】 紙パックやビニールトレイのリサイクル回収BOXの利用時には、消費者側で回収物を洗う必要があるが、回収業者が洗って回収する仕組みを作ることで、消費者の一手間のハードルが下がり、リサイクル率が向上するのではないか。</p>	<p>県では、廃棄物の発生抑制・リサイクルを促進するため、普及啓発活動を実施するとともに、プラスチックごみ削減に向けては、「『プラごみゼロ』とくしまスマート宣言」に賛同いただける皆様に「私たちのプラごみゼロ宣言」を行っていただくなど、環境活動の実践を促しているところです。今後とも、「プラスチックごみ問題」の解決へ向け、県民総ぐるみの運動につながるよう取り組んで参ります。</p>	危機
14	<p>【女性活躍の推進】 女性管理職が多い民間企業を表彰する制度など、経営者の意識改革に繋がる施策に取り組んで頂きたい。</p>	<p>本県では、平成26年度から、男女共同参画社会の推進に顕著な功績のあった個人又は団体（企業を含む）の功績を称え、活動意欲の醸成や活動の活発化を図るため、「男女共同参画立県とくしまづくり賞」表彰を実施しております。今後とも、受賞企業をモデル事例として発信し、企業の社会的認知度の向上につなげるとともに、女性活躍をはじめとする男女共同参画の実現に取り組む企業を後押しして参ります。</p> <p>また、子どもを産み育てながら働き続ける「子育てに優しい職場環境づくり」に積極的に取り組む企業等を「はぐくみ支援企業」として認証・表彰しており、引き続き、当該企業の取組みなどの好事例を広報し、女性活躍の推進について企業のイメージアップ及び他の企業への波及効果に努めて参ります。</p>	未来 商工
15	<p>【廃ビニールの処理】 農業用のビニール・プラの処分について、全国的に処理費用が高騰しており、野焼きや不法投棄を防ぐといった点からも、協力・指導をお願いしたい。</p>	<p>徳島県では、平成8年度にJAや市町村等とともに「徳島県農業用廃プラスチック適正処理対策協議会」を組織した上で、農業用廃プラの処理価格を入札により決定する等により、処理費用は全国でも比較的安価となっている状況です。</p> <p>一方、野焼きや投棄については、廃掃法により全ての資材で禁止されており、県としては、市町村等の関係機関と連携のもと、適正処理に関する指導及び啓発を行っているところです。</p> <p>今後とも引き続き、処理費用の値上げが違法行為に繋がらないよう、関係機関と協力し、適宜対応を行って参ります。</p>	農林

「総合計画審議会」（令和2年12月1日）における委員意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
16	<p>【徳島モデルの起業家支援の発信】                      起業支援・起業家支援の徳島モデルといえるような取組を発信し、起業するなら徳島に行こうという流れをつくる取組をしてはどうか。</p>	<p>起業支援・起業家支援については、各種団体との連携のもと、各ステージに応じた幅広い事業を展開しています。ポストコロナに向けたビジネスモデルの転換に向け、デジタル技術等を活用したイノベーションの創出がより一層求められる中、県においては、（一社）徳島イノベーションベース（TIB）と連携し、世界的起業家組織E.Oの経営者等からテクノロジーや起業ノウハウを習得できる新たな起業支援に取り組んでいるところであり、この新たなプラットフォームによる取組みを全国に発信し、都市圏からの若者の参画も促進することにより、イノベーション創出を加速して参ります。</p>	商工
17	<p>【多様性の尊重・コロナ】                      コロナにより難しい対応が求められる中、一人一人が自己実現していくため、多様な働き方や多様な学びなどの多様性を重視した施策に取り組んで頂きたい。</p>	<p>県では、「県民総自己実現！『ダイバーシティとくしま』の推進」を行動計画の重点戦略に掲げ、高齢者や障がい者の活躍推進、在住外国人支援など、各種関連施策に取り組んでいます。また、今年度は、本県がめざす「ダイバーシティ社会」の理念と方向性を分かりやすく示す「推進方針」を策定することとしており、引き続き、多様性が受容され、誰もがいきいきと活躍できる「ダイバーシティ社会」の推進に取り組んで参ります。</p> <p>また、「テレワークセンター徳島」を拠点に企業へのテレワーク導入支援を行うとともに、年齢性別問わず、障がいのある方等も受講可能な「テレワーカー養成講座」の実施等により、引き続き、多様で柔軟な働き方を推進して参ります。</p> <p>加えて、「デュアルスクール」による地方と都市双方の視点での学びや、「チェーンスクール」「パッケージスクール」による各学校の資源を相互に活用した学び、全国初の県立夜間中学校として4月7日に開校予定のしらさぎ中学校での多様なニーズに応じた学び直し、さらには、今年度策定の「徳島県GIGAスクール構想」に基づく児童生徒一人一台タブレット端末の有効活用により、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人一人に個別最適化された学びを今後とも推進して参ります。</p>	未来 商工 教育
18	<p>【高齢者・ICT学習の場の充実】                      高齢者が病院・施設に入った際、自分の力で、家族と連絡が取ることができるよう、元気なうちにICT活用を学べる場を増やして頂きたい。</p>	<p>県では、シルバー大学校において、パソコンの習得を内容とするICTコースを設けるとともに、同大学院では、ICT講座を開講し、受講生は、「シニアITアドバイザー」の資格を取得しています。また、同大学院卒業後、「生きがいづくり推進員」として、ICT講座の講師などの地域活動を行われており、今後とも、アクティブシニアの皆様の活躍を後押しして参ります。</p> <p>また、高齢者の皆様に、スマートフォン等のデジタル機器を安全・安心に利活用していただくため、老人クラブと連携し、デジタル機器の操作等とともに、ネット上の詐欺被害等の対策もあわせた研修を実施して参ります。</p>	未来 保健

「総合計画審議会」（令和2年12月1日）における委員意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
19	<p>【子育て分野に特化したアクティブシニアの顕彰制度】 子育て分野に特化したアクティブシニアの顕彰制度を設けてはどうか。</p>	<p>県では、次代の社会を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を社会全体で支援する機運を醸成するため、平成23年度から「とくしま子育て大賞」を創設し、表彰しています。子育て大賞の部門の一つとして、地域の子育て支援活動に熱心な「シニア団体・個人」を表彰する「シニア子育て部門」を設けており、保育現場でご活躍されているアクティブ・シニアの方も対象としております。</p> <p>さらに、高齢者の皆様が生きがいを持って生活し、地域社会の重要な担い手として活躍できる環境づくりを図るため、シルバー大学校大学院を開校しており、卒業生は、「生きがいづくり推進員」として、社会貢献活動に取り組まれています。また、平成27年度から、「生きがいづくり推進員」として、地域活動や社会貢献活動に協力し、功績のあった方々に感謝状を贈呈しております。</p> <p>今後とも、アクティブシニアの皆様の活躍をしっかりと後押しして参ります。</p>	未来
20	<p>【県民を挙げた徳島県の魅力発信・都道府県魅力度ランキング】 県民を挙げて、SNSなどで徳島の魅力発信に取り組んではどうか。</p>	<p>県の注目度を高めるため、SNSをはじめとした利便性の高い広報媒体を活用して、国内外に情報発信を行っているところです。情報発信を行うにあたっては、情報に興味のある方、興味を持ちそうな年代の方など、ターゲットを絞って発信するとともに、例えば、Twitterで情報発信を行う際には、「徳島のタグ付け」を行い、様々なイベント、食、文化、名所等と「徳島」とを紐付けすることで、広く拡散を図って参ります。</p> <p>また、徳島県の知名度向上、ブランドイメージの確立のため、徳島由来の魅力と訴求力の高いWEB等様々な手法を活用し、情報発信を展開して参ります。</p>	政策経営
21	<p>【子育て支援活動に対する行政の関わり方】 食事や見守りといった民間の子育て支援活動にも行政が積極的に関わって頂けると、地域の活力にも繋がり、子育て支援の充実が図れるのではないかと。</p>	<p>県では、子どもたちに安全安心な居場所を提供するだけでなく「地域の多世代交流拠点」としての役割を担う「子どもの居場所づくり」を推進するため、子どもの居場所づくりを推進するコーディネーターを県社会福祉協議会へ配置し、「広域的な支援バンク」活用によるマッチングや情報提供など、「子どもの居場所」を県内各地に拡げ、持続可能な運営となるよう地域の取組みを支援しているところです。</p> <p>今後とも、地域の活性化やネットワーク強化を図り、子どもたちを育む「子どもの居場所づくり」を推進して参ります。</p>	未来

「総合計画審議会」（令和2年12月1日）における委員意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
22	<p>【県の施策の推進・若者意見の反映】                      コロナ禍であっても、県の総合計画については、県民に対して「見える化」をし、しっかりと推進して頂きたい。                      また、若者意見の総合計画・施策への反映にも引き続き取り組んで頂きたい。</p>	<p>県政について、県民に説明責任を果たし、県民の理解と信頼を深めることが重要であると考えており、この観点から、4年間の県政運営指針となる総合計画の「見える化」を図るため、計画の全体像をコンパクトに取りまとめた「概要版」を作成しており、関連動画の二次元コードや関連写真を掲載するなど、興味を持っていただきやすいレイアウトにするとともに、県のホームページへの掲載のほか、県が開催する各種会議にて配付・説明するなど、総合計画の周知・情報共有に努めております。                      また、徳島の将来を担う若者意見についても、高校生や大学生との対話集会「新未来セッションNEO」などを通じて総合計画・施策への反映に取り組んでいるところです。                      今後とも、総合計画の「見える化」や「若者意見の反映」に積極的に取り組んで参ります。</p>	政策
23	<p>【スマート自治体の推進】                      マイナンバーカードを活用した決裁システムの実証実験の実施など、新しい手法により行政のデジタル化を推進して頂きたい。また、「スマート自治体」に関する施策を、総合計画に盛り込んで頂きたい。</p>	<p>行政事務・手続のデジタル化を含めたデジタル社会の実現に向けた取組を強力に推進するため、「アクションプラン」を策定し、行政システムの変革による県民利便性の向上を図ることとしており、その旨行動計画に盛り込んでいます。                      また、Society5.0を支える社会インフラとなる「マイナンバーカード」の利活用を図るため、マイナポイントの基盤を活用した「自治体独自のポイント付与」等新たなモデルを構築して参ります。                      なお、マイナンバーカードによる認証システム及び電子決裁システムは、本県では既に導入済みです。</p>	政策経営
24	<p>【ウィズ・アフターコロナ時代の会議のあり方】                      今後の会議のあり方として、同じ場所に集まって参加する形式とリモートで参加する形式を組み合わせる実施することが望ましいのではないかと。</p>	<p>県では、「WITHコロナ」から「アフターコロナ」を見据え、感染防止対策を講じた上で、「リアル対面」と「オンライン」を併用した「阿波おどり」や対話集会「新未来セッションNEO」など、「ニューノーマル仕様」のイベント等の開催に挑戦しているところであり、審議会などの各種会議はもとより、今後とも「アフターコロナ」時代に相応しい取組を推進して参ります。</p>	政策

「総合計画審議会」（令和2年12月1日）における委員意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
25	<p>【国際交流関係施策の継続について・コロナ】                      コロナ禍で国際交流の事業自体を無くすのではなく、小さくてもいいので、継続して取り組んで頂きたい。</p>	<p>新型コロナの影響で渡航を伴う交流事業ができていない状況にはありますが、オンラインを活用し、中国北京大学生との交流や共生社会ホストタウンの相手国であるジョージアのパラアスリートや大学生と県内の高校生や障がい者との交流事業を実施しています。引き続きWITHコロナ、アフターコロナに対応した交流事業に取り組んで参ります。</p>	未来教育
26	<p>【県民への本県の魅力の発信・コロナ】                      観光業はコロナの影響で県外からの集客が大変厳しい状況であるが、今の時期は、オンラインを活用するなどして、県民に対して本県の魅力を伝える場づくりを進めてはどうか。</p>	<p>県では、観光需要の喚起のため、WEBページにおける動画配信や、SNSを活用した本県の魅力発信に努めており、「徳島あるでないで」キャンペーンでは、オンライン旅行会社や大手旅行会社のWEBサイトを中心に、宿泊プランへの導線となる徳島県特集ページを設置し、「体験」や「食」といった共通のテーマを組み込んだ宿泊プランの販売、お得なクーポンの配布などを実施しています。また、新型コロナ収束後のインバウンド需要も見据え、阿波おどりの指導や本場の魅力を広く発信して参ります。</p>	商工
27	<p>【県民向け講座のオンライン化】                      オンライン講座は子育て中の女性や県外の方など、対面での参加が難しい層の参加が見込まれ、女性活躍や交流人口の増加などのきっかけにもなると考える。ただ、対面の良さもあるため、対面とオンラインを両立した講座に取り組んではどうか。</p>	<p>県立総合大学校においては、新型コロナウイルスによる新たな日常に対応した各種講座の充実に取り組んでおり、オンライン講座についても多様なより多くの方々の参加が見込まれることから、講座の充実により、県民の皆様の利便性の向上を図って参ります。一方で、「対面ならではの」の良さを活かした講座への取組も重要であることから、講座の内容や特色に応じて、双方の良さを活かした講座づくりを推進して参ります。</p>	政策
28	<p>【アクティブシニアの活躍推進】                      感染予防対策を実施している適切な場所・施設であれば、アクティブシニアの方が活躍する機会を提供する仕組みを構築してはどうか。</p>	<p>今年度開設した「アクティブシニア地域活動支援センター」において、リカレント講座実施による「担い手の育成」と地域ニーズとのマッチング支援による「活躍機会の創出」を図り、感染予防・防止対策に留意しながら、更なるアクティブシニアの活躍推進に取り組んで参ります。</p>	未来
29	<p>【知識を活用する能力の向上】                      科学好きのアクティブシニアの方による出張授業や、科学館・博物館等との連携などにより、児童生徒に実体験（観る）する機会を提供することで、活用する能力の向上が期待できるのではないかと。</p>	<p>理科の観察実験についての指導力を有する退職教員を専門員として、小中学校に出前授業を実施するとともに、民間企業と連携し、IoTに関係するセンサーやプログラミング学習ロボットを利用するなどの最先端技術を体験する講座を実施して参りました。今後とも、関係機関と連携しながら、児童生徒の関心を高め、深い学びにつなげて、活用する能力の育成に努めて参ります。</p>	教育

「総合計画審議会」（令和2年12月1日）における委員意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
30	<p>【児童生徒の体力向上】 小さい頃から体力増強を図る仕組みづくりをお願いしたい。</p>	<p>はつらつサポート（体育指導者派遣事業）、さわやかサポート（運動・生活習慣確立のための指導者派遣事業）、「キッズわんぱくランキング」などの実施により、学校において運動習慣を身に着けさせる取組を進めるとともに、教員に対し、体力・運動能力向上に効果的な運動についての研修を実施して参ります。</p>	教育